

Support 大学院進学へのサポート

大学院への進学を**授業料免除など**学費の面で**サポートする制度**を用意しています

入学科・授業料と免除制度

※金額は予定額 [実績]

入 学 料	282,000円	入学料免除 (令和元年度)	[申請者] 73名 [全額免除者] 0名 [半額免除者] 16名*
授 業 料	半期額	267,900円	授業料免除* (令和元年度)
	年 額	535,800円	

※延べ人数で算出

・経済的理由により入学科や授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合等は、本人の申請に基づき選考の上、入学科・授業料の免除及び徴収猶予が認められる制度があります。
・その他、学力優秀でありながら、経済的困難から勉学継続困難な学生へ入学科の半額相当額を支給する「経済的困窮学生への支援制度」や、学業優秀、かつ、優れた研究業績をあげた者に対する「卓越した学生に対する授業料免除」の制度もあります。

奨学金と返還免除制度

日本学生支援機構の奨学制度

第一種奨学金 (無利子貸与)	月額50,000円または88,000円
第二種奨学金 (有利子貸与)	月額50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択

●大学院で第一種奨学金の貸与を受けた学生で、在学中に特に優れた業績をあげた者として日本学生支援機構が認定した場合には、奨学金の全額または半額の返還が免除される制度があります。

[実績] ※大学院博士前期課程学生のみ

奨学生数(2020年8月1日現在)		全額免除	10名
		半額免除	18名
博士 前期課程	1年次	全額免除	4名
		半額免除	22名
	2年次	全額免除	5名
		半額免除	26名

地方公共団体、財団等の奨学金

地方公共団体、財団等によるさまざまな奨学金制度があります。募集は4~6月頃に多く、その都度、掲示板に情報を掲示してお知らせします。

- (1)貸与・給付団体および奨学生数
自治体等 3団体4名
- (2)奨学金月額
給付(返還不要) 6,000円~80,000円 ※2020年8月現在

室蘭工業大学 大学院 専攻コース一覧

博士前期課程 修業年限2年



環境創生工学系専攻

「環境」を中心としてそれを取り巻く工学の諸分野を扱い、環境と調和した持続可能な社会を創生していくための幅広い内容に取り組みます。

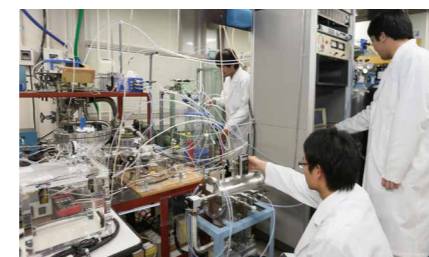
- 物質化学コース
- 化学生物工学コース
- 環境建築学コース
- 土木工学コース
- 公共システム工学コース



生産システム工学系専攻

「ものづくり(=生産)」に必要なマテリアル、機械、物理学等の基盤技術から航空宇宙機や次世代ロボット等の高度なシステム技術までの幅広い内容に取り組みます。

- 機械工学コース
- ロボティクスコース
- 航空宇宙総合工学コース
- 先進マテリアル工学コース
- 応用物理学コース

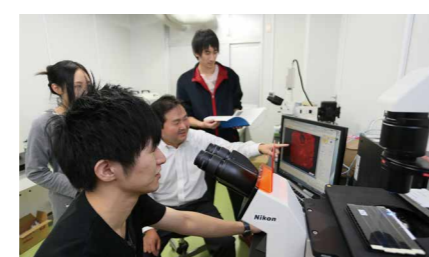


情報電子工学系専攻

数理的な手法を基礎に、「情報・電子」に関連した種々の技術体系修得に取り組みます。

- 情報システム学コース
- 知能情報学コース
- 電気通信システムコース
- 電子デバイス計測コース

博士後期課程 修業年限3年



工学専攻

工学全般の諸分野を扱い、科学技術の進展による研究分野の変化や幅広い分野に関連する企業からの要望に柔軟に対応できるイノベーション博士人材養成に重点的に取り組みます。

- 先端環境創生工学コース
- 先端生産システム工学コース
- 先端情報電子工学コース

■仕事・育児・介護等で進学をあきらめていませんか?⇒〈長期履修学生制度〉

<申請資格> 次のいずれかに該当する者 ①官公庁、企業等において職している者 ②育児、親族の介護等に従事している者 ③その他修学に重大な影響があると学長が認めた者

特 徴

- ①ゆとりのある履修計画
・仕事、育児、介護との両立
・最長4年間で修士号に必要な単位を履修できる
- ②修了までの授業料は、通常の額と変わらないため、半期額が軽減される(右図参照)

	半期額	授業料総額
通常(2年間)	267,900円	×4=1,071,600円
3年間	178,600円	×6=1,071,600円
4年間	133,950円	×8=1,071,600円

国立大学法人
室蘭工業大学
確かな研究力をベースとした教育力

〒050-8585 北海道室蘭市水元町 27-1
TEL.0143-46-5162 [入試戦略課]
FAX.0143-45-1381
E-mail nyushi@mmm.muroran-it.ac.jp
https://www.muroran-it.ac.jp/

携帯電話サイト
https://daigaku.jp/muroran-it/
2020年度発行



大学院進学 のススメ

国立大学法人
室蘭工業大学



確かな研究力を
ベースとした教育力

Merit 大学院進学へのメリット

大学院への進学は、将来につながる
新たな可能性を大きく広げるカギになります

Merit 1

現在の研究を
継続できます

現役大学院生の半数が、学部で携わっている研究をもっと続けたいと考え進学を決めました。

- 研究を通して自分で考え、やり遂げる経験は必ず役立つ
- 自分にとっての興味を追求していくのは面白く、楽しい
- これまで学んできたことを深められる一番のチャンス

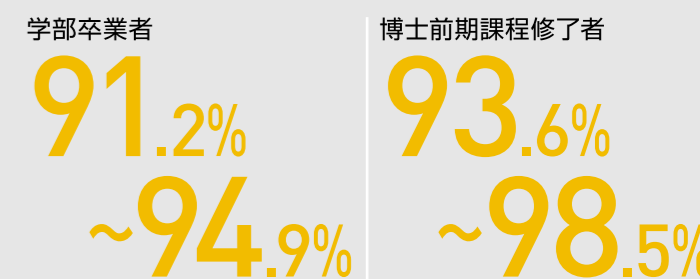


Merit 2

実就職率が向上します

博士前期課程修了者に対する社会的なニーズは高く、学部卒業者を上回る実就職率*を達成しています。
*実就職率=就職者÷(卒業[修了]者数-進学学生数)

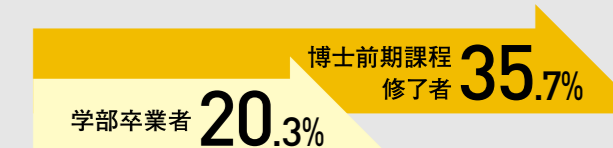
過去5年間(本学平成27~令和元年度)の実就職率実績



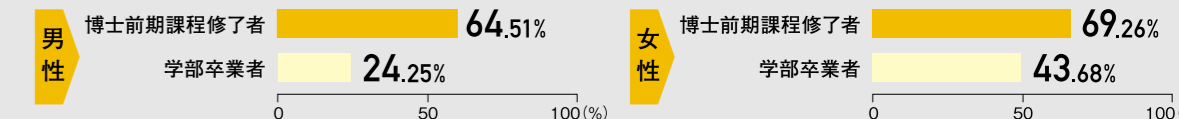
Merit 3

大企業、専門・技術職で活躍する割合が高い!

■一部上場企業への就職の割合(本学令和元年度実績)



■専門的・技術的職種従事者の割合(内閣府資料:大学院卒の賃金プレミアム/2014年6月)

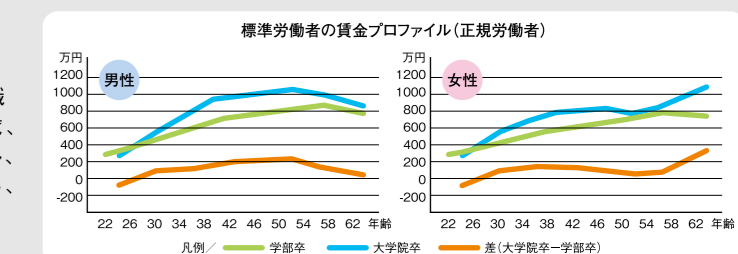


Merit 4

生涯賃金収入に優位性

内閣府資料*によると、新卒入社以後、転職せずに勤務し続けた場合、男性は25歳、女性は26歳で賃金が学部卒業者と逆転し、差は拡大。大学院の学費等を考慮しても、大学院卒は収入面で優位性があります。
*大学院卒の賃金プレミアム(2014年6月)

生涯賃金収入 ※内閣府資料より	学部卒		大学院卒	
	男性	女性	男性	女性
	2億9,163万円	2億6,685万円	3億4,009万円	3億1,019万円



環境創生工学系専攻

「環境」を中心とした工学の諸分野を扱い環境との調和を図る持続可能な社会を創生するための知識・技術を修得します。

OG MESSAGE



積水ハウス株式会社
武蔵野支店
設計課
内田 奈穂子さん
北海道札幌清田高校出身。2007年、学部卒業。2009年、大学院博士前期課程修了後、同社入社。

家づくりの最初から最後まで携わり同じものが二つとない面白さを感じています。建築にも造園にも携わりたいという希望通り、契約前の提案から住宅外部・内部の打ち合わせ。図面作成など、家づくりの最初から最後までを担当。竣工時に喜んでいただく様を見ることができたと感じていますし、同じものが二つとないことも仕事の面白さ。設計に必要な能力レベルアップさせ、多くの物件に携わってまいります。

ポイント
大学院のススメ
私は、これから一生働くなら、あと2年学生でいる方が学べることが多いのではと進学しました。大学院は、テーマに基づいて自ら動き出さなければ何も進みません。そこは社会と変わらないので、仕事に生かせることがたくさんあると思います。



教員
インタビュー
中野 英之教授
大阪大学工学部応用化学科卒業。
同大学院工学研究科
プロセス工学専攻博士後期課程修了。

プラスアルファの学びが活躍の道を広がってくれます。

4年間勉強してきたことにプラスアルファして学べば、より広く活躍できるように！研究を通して身につく問題解決の方法は、将来きっと役立つ。

- ◆ 大学院進学のきっかけは？
入学時は意識していませんでしたが、研究室選びの場には大学院で研究を続けるのが当然という周囲の雰囲気だったのですね。
- ◆ 大学院時代の思い出は？
修士論文をまとめ上げ、一つのことを身につけられたと実感。他の研究室との交流などでも知識や考え方が広がりました。
- ◆ 研究することの魅力は？
分からないことをなぜだろうと考えていく過程が面白く、分かった時には大きな快感がある。その感覚は今も変わりません。
- ◆ 大学院進学のメリットは？
同じ土俵で仕事をすると、ベースになる知識やスキルが違ふ。自分の手でこれを作り上げたという経験があるのも強みです。

生産システム工学系専攻

マテリアル、機械、物理学から航空宇宙機や次世代ロボットなどまで各専門知識を駆使して活躍を目指します。

OB MESSAGE



室蘭工業大学
しくみ解明系領域助教
中里 直史さん
栃木県立宇都宮清陵高校出身。2009年、学部卒業。2011年、大学院博士前期課程修了。2013年、同後期課程修了後、環境・エネルギーシステム材料研究機構(OASIS)博士研究員を経て、2015年より現職。

新たな材料の実用化を目指す研究で世界をより良くすることが目標です。航空宇宙や原子力分野などで使用されているセラミックス複合材料が院生時代からの一貫したテーマ。基礎研究の段階を経て、現在は国の事業として実用化製造プロセスの開発などに取り組んでいます。研究によって世界をより良くすることが夢です。

ポイント
大学院のススメ
謎や疑問について調べ、調べ、仮説を立てて検証する「研究」にハマれる期間。研究過程は仕事でも同じですし、体験は就職試験で自信を持って話せます。直感を大切にしたいと思う選択をして今の僕があります。



教員
インタビュー
今井 良二教授
大阪大学基礎工学部機械工学科卒業。
同大学院基礎工学研究科
機械工学分野博士前期課程修了。博士(工学)

本格的な研究で論文をまとめる経験は社会で必ず役立ちます。

自分で考え、本格的な研究をするには、大学院進学が必須です。研究を通じて高度な問題解決力とともに、教員や先輩・後輩との密なコミュニケーションで社会性も養われます。

- ◆ 大学院進学のきっかけは？
専門課程に入ってから進学を考えるようになり、研究室に配属されて研究し始めた1年では達成感を得られない気がして決めました。
- ◆ 大学院時代の思い出は？
朝から夜まで研究室で過ごし、個性豊かな仲間をはじめいろいろな人から多く学びました。
- ◆ 研究することの魅力は？
苦労して疑問が解決したときの達成感は格別。それはほんのわずかな瞬間ですが、より大きな達成感のためにより努力するようになります。
- ◆ 大学院進学のメリットは？
その分野の専門家だと社会で胸を張るには、大学院で得られる問題解決力、研究力、専門知識が必要。専門性がなければ人は付いてきません。リーダーに専門性は必須です。

情報電子工学系専攻

「情報・電子」の専門知識と技術をもとに時代の変革に対応して研究・開発を遂行できる人材を養成します。

OB MESSAGE



富士通株式会社
エンタプライズサーバ事業本部
プロセス開発統括部第二技術部
石井 寛之さん
北海道札幌北陽高校出身。2007年、学部卒業。2009年、大学院博士前期課程修了後、同社入社。

世界に通用するコンピュータを作りたい！希望をかなえて「京」の開発も担当。プロセスの開発を担当し、世界一を達成したスーパーコンピュータ「京」の開発にもあたるなど世界に通用するものを作ることができ、エンジニアとしてやりがいは大変です。自分の作ったコンピュータが最先端の研究・開発に使われることで、世界のさまざまな問題解決に貢献したいと思っています。

ポイント
大学院のススメ
時間的な余裕がたっぷり生まれ、研究に加えて国際会議なども経験できます。知識が増えることで視野が広がり、自分に向けた就職先をしっかりと判断できるようになるはず。大きく成長できるチャンスです。



教員
インタビュー
長谷川 弘治教授
北海道工学部電子工学科卒業。
同大学院工学研究科電子工学専攻
博士後期課程修了。

可能性を自分で縮めてしまわずまず挑戦してみてください。

大学院進学を迷う機会があるのに、挑戦せずにあきらめて可能性を自分で縮めてしまわないでほしい。やる気になれば、必ず成果になって表れます。

- ◆ 大学院進学のきっかけは？
所属した研究室の担当教官が世界的に有名なエンジニアで、どうすればそうなるのかを側でもっと見たいと思ったため。
- ◆ 大学院時代の思い出は？
研究室は勉強どころかという意識統一がされていた分、外に出ると皆で騒いで気分転換。仲間の絆は今も続いています。
- ◆ 研究することの魅力は？
初めて自分で考えて学ぶことで、もの見方が変わります。苦しいことが多いからこそ、うまくいった時の喜びは大きい。
- ◆ 大学院進学のメリットは？
自分が楽しんでできる仕事に就ける可能性が高まります。研究の面白さも体験でき、いろいろなことに気づけるはずですよ。

企業からの声

株式会社 日本製鋼所
室蘭製作所副所長 | 東 司さん

[株式会社 日本製鋼所]
1907年(明治40年)、室蘭市にて創業。
本社:東京都品川区大崎。資本金:196億9,423万円。
従業員数約2,200名。特殊鋼メーカーとして成形材・エネルギー事業、産業機械事業をグローバルに展開。

自分自身で考え成長できるのがメリット
将来に活躍できる選択肢も広がります。

大学院進学で得られる一番のメリットは、与えられた研究をするだけでなく、自分で調べて成長できる機会を持つことだと思います。修士論文で研究した特殊な分野向けの知識が就職後にそのまま活かされなくても、苦勞しながら考えて取り組んだ経験を通して自分の中に「芯」を持つことができ、それが仕事で成長していく上でももちろん、問題にぶつかった時の解決にも役立ちます。入社後の配属など、活躍の選択肢を広げる意味もあると思います。

大学院で身につけてほしい3つのポイント

- 1 答えがないかもしれないものを解決する経験(自分で考える経験)を多く積むこと
- 2 成功体験やコミュニケーションを多く積むこと
- 3 専門に関する基礎知識を深めること



現役学生に聞く

大学院工学研究科 博士前期課程
生産システム工学系専攻
ロボティクスコース2年

中尾 祐大朗さん
(北海道札幌琴似工業高校出身)

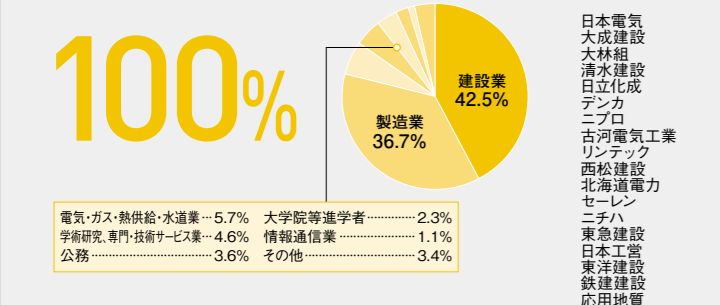
知識や経験を得られるチャンスがいっぱい！
大学院進学は自己投資になるはずですよ。

3年次前期までは、学部卒業後に就職するつもりでした。それが、工作機械メーカーのインターンシップをきっかけに変わりました。一緒に参加していた大学院生の論理的な思考や専門知識、経験値などのレベルの高さに触れ、自分との違いに焦りを覚えたからです。大学院は新たな知識や経験を得られるチャンスが多く、意欲的に飛び込んでいったことが成長につながりました。研究には答えのないことにトライする難しさや迷いが多々ありますが、新たな視点を得られた時の達成感も格別。高校時代から志望していた企業に内定できたので、身につけたものを発揮できればと楽しみにしています。

大学院に進んで良かった3つのポイント

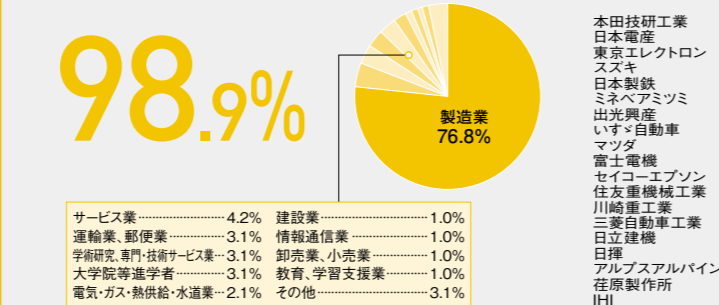
- 1 経験・視野を広げて自分を磨き上げることができ、将来へ向けた自己投資に
- 2 実際の課題を題材にして研究を進めるため、社会とのつながりを実感
- 3 研究活動を通して働きたい分野を絞り込めます。就職活動にも有利!

就職率



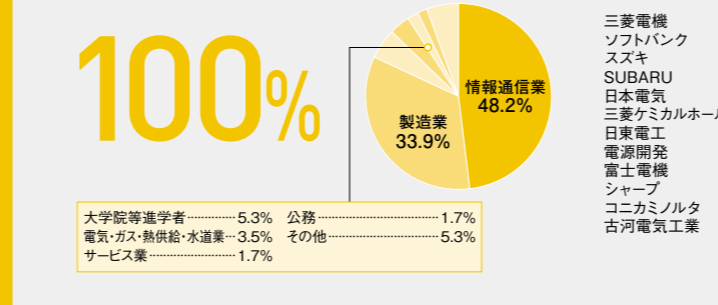
- 昭和電線ホールディングス
- 国土交通省北海道開発局
- 茨城銀行
- 日本血液製剤機構
- 共同エン지니어リング
- デンカ
- 日立化成
- 日立製作所
- 古河電気工業
- リソテック
- 商松建設
- 北海道電力
- セレン
- 有業製薬
- アース環境サービス
- アトリエンク
- アドバンテック
- 石本建築事務所
- 井上技研

就職率



- 本田技研工業
- DOWAホールディングス
- 日本電気工業
- 東京エレクトロン
- スズキ
- 日本製鉄
- ミネベアミツミ
- 出光興産
- いすゞ自動車
- マツダ
- 富士電機
- セイコーエプソン
- 住友重機械工業
- 川崎重工業
- ジェイテクト
- DOWAホールディングス
- NOK
- 日本電気電子
- 電研システム
- 日本製鋼所
- 牧野フライス製作所
- 日本航空電子工業
- 三菱工業
- 芝浦機械
- 丹島機械
- 日本ケムコン
- アインズエアラインズ
- アムコテクノロジージャパン
- NGSアドバンスドファイバー
- 大島製粉
- 川崎重工業エンジニアリング
- キョウゴ
- シーテック北海道
- ジュビターコーポレーション
- 千住金属工業
- ダンテック

就職率



- 三菱電機
- ソフィアバンク
- SUBARU
- 日本電気
- 三菱ふじかほホールディングス
- 日本電産
- 電源開発
- 富士電機
- シャープ
- ユニコムルタ
- 古河電気工業
- 北海道電力
- 福島機械
- 京三製作所
- 日本ケムコン
- ソフトウエアホールディングス
- TOA
- 国土交通省北海道開発局
- NHKメディアテクノロジー
- NTTデータMSE
- パナソニックIT
- はくでん情報テクノロジー
- ワインコンサル
- エア・ウォーター物流
- 小田原エンジニアリング
- 神田通信機
- キメラ
- Gunosy
- シーサーラボ
- JIG-SAW
- ジョンソンコントロールズ
- タイアモンヘッド
- テクノポ
- アサヒ
- 東京ガスネット
- トラストテック
- 日鉄テックシステム
- 日立産機システム
- 日本デジタル研究所
- パナソニックAVCテクノロジー
- 光舎製作所
- ヒューチャー DMG森精機
- 楽道

※紹介した方々の肩書き等は取材時のものです